

社会から、お客様から、 そして社員から信頼される企業として。

企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility) が、国内でも海外でも重要視されるようになってきました。経済的な側面、環境的な側面、そして社会的側面において、企業は確かな責任を果たすことが求められているのです。シャチハタでは、環境に配慮されたモノづくりをベースに、社会から、お客様から、そして社員から信頼される企業活動を展開していきます。

名古屋小児がん基金へ寄付

シャチハタは名古屋小児がん基金(小島勢二理事長)の活動趣旨に賛同し、社会貢献活動として寄付を行いました。この基金は名古屋大学医学部附属病院(名大病院)の小児科が中心となり、一人でも多くの小児がん患者を救うために設立されました。名大病院では日本で最も多くの小児がん患者を受け入れています。また発展途上国における小児がん患者を支援する活動も行っています。集まった寄付金は、最新の診断法や治療法に役立てるために使われます。



動物愛護 寄付つきネーム印

(キャップレス9 メールオーダー式 猫柄)

売り上げの一部を、名古屋市動物愛護センターへ寄附し、殺処分ゼロを目指す活動を支援します。





インドネシア震災地域学校訪問

—昨年9月にインドネシアにあるスラウェシ島パルでマグニチュード7.5の地震が発生し、液状化現象によって、道路の陥没や建物の倒壊等の甚大な被害をもたらしました。パルにある地域代理店は、ここ数年アートライン販売に大変に協力的で、学校向けのホワイトボードマーカーの拡販に尽力いただきました。しかし地震発生後、現地の学校100校以上で建物が倒壊してしまい、1年

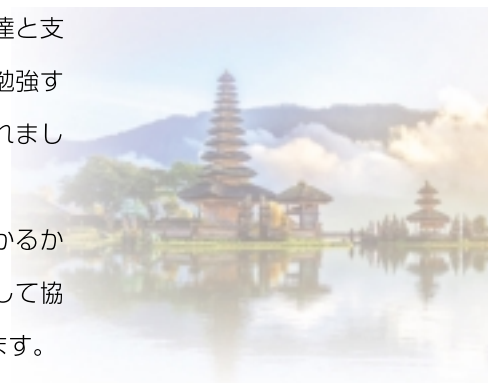


以上がたった現在でもテントの仮校舎で学生は勉強をしています。この状況にシヤチハタでできることはないかと考え、一昨年12月、地域の代理店と共に被災した学校を訪問し、学生たちにアートライン商品の学生向け商材を500セット、学校には



ホワイトボードや制服を寄贈しました。厳しい環境でも決して落ち込むことなく家族や友達と支えあい笑顔を決やさず勉強する姿に逆に勇気づけられました。

復興までは時間がかかるかもしれませんが、継続して協力していきたいと思います。



社会貢献活動(エコキャップ活動)

シヤチハタでは、2010年度よりペットボトルのキャップの収集を行うことでワクチンが寄付することができる、エコキャップ活動に協力しています。そのままキャップを焼却処分しますと、430個(1kg)につき3,150gのCO₂が発生しますが、回収したキャップをプラスチック原材料としてリサイクルすることにより、キャップ860個でポリオワクチン1人分の購入ができます。2019年度は31,793個(ワクチン約37人分、CO₂約232kgの抑制)のキャップを収集し、JCV(世界の子どもへワクチンを日本委員会)へ送付しました。今後もこの活動を継続していく予定です。